科目名	数理演習 Exercise of Mathematics			担当教員	橋本良夫		
学年	２年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120017	単位区分	履修単位
学習目標	専門科目を学習する上で必要となる，式の計算，因数分解，方程式，平面ベクトル，三角関数などに関して，数式の処理法の基礎を復習し，基本的な問題が解けるようにする。						
進め方	演習問題を解き，後日，模範解答を元に自己採点することで，理解の定着をはかる。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	ガイダンス(1)	シラバスに基づいて，授業の進め方，成績の評価方法について説明する。
	１．数と式の計算 [前期中間試験](2)	・整式と分数式の加減乗除の計算ができる。 ・分母の有理化や簡単な無理式の計算ができる。 ・累乗根，指数法則を利用した計算ができる。 学習・教育目標:(B-1)
	試験返却(1) ２．平面ベクトル(6) 前期末試験	・平面ベクトルの基本的な計算ができ、大きさを求めることができる。 ・平面ベクトルの内積を用いる基礎的な問題が解ける。 ・ベクトルの性質を用いて図形的な問題が解ける。 学習・教育目標:(B-1)
	試験返却(1) ３．三角関数(7) [後期中間試験](2)	・三角関数および三角関数の加法定理について理解し，それらを事象の考察に活用できる。 ・三角関数を用いて，ベクトルの分解や合成ができる。 学習・教育目標:(B-1)
	試験返却(1) ４．方程式(6) 後期末試験	・解の公式や因数定理を利用して高次方程式を解くことができる。 ・連立二元方程式を解くことができる。 学習・教育目標:(B-1)
	試験返却(1)	

評価方法	授業中に行う小テストを 30%，定期試験を 70%として評価する。
履修要件	特になし
関連科目	基礎数学Ⅰ・II（1 学年）　→　基礎数学 III・微分積分Ⅰ（2 学年）
教材	配布プリント
備考	